

『二本松市第六次高齢者福祉計画・第五期介護保険事業計画』策定に係る

パブリック・コメント提出意見の要旨及び市の考え方について

	提出意見の要旨	市の考え方
1	<p>(1) 全地域の中で、高齢化率が最も高いのが東和地域である。</p> <p>(2) 全地域の中で、認知症になるリスクのある方々が最も多いのが東和地域である。</p> <p>(3) 今後、地域密着型サービスの利用者は増加が見込まれる。</p> <p>(4) 以上1～3及び日常生活圏域における地域一体となったケアが求められることから、「認知症対応型共同生活介護」を「1施設(2ユニット)」より、各地域に分散設置する観点から「2施設(2ユニット)」とするのが望ましい。</p> <p>また、そのうち1施設は東和地域に整備するのが望ましい。</p>	<p>平成22年度の住民基本台帳をもとに地域ごとの高齢化率を分析した結果、最も高齢化率が高かったのは東和地域であり、平成26年度の将来推計においても同様になるものと見込まれています。</p> <p>また、平成23年2月に実施した「日常生活圏域ニーズ調査」において認知症リスクを判定した結果、要支援・要介護認定を受けている高齢者については東和地域の割合が最も高く、認定を受けていない高齢者については岩代地域の割合が最も高いという結果が出ております。</p> <p>市といたしましても、今後地域密着型サービスの利用者が増加すると見込んでおり、高齢者が住み慣れた地域で生きいきと暮らしていけるまちづくりを目指し、次期計画の中で小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護の基盤整備を進めることとしております。</p> <p>その中で、認知症対応型共同生活介護につきましては、「1施設(2ユニット計18人)」を整備することといたしております。</p> <p>このたび、地域を分散して「2施設(2ユニット計18人)」の整備が望ましいとのご意見を提出いただきましたが、市といたしましては、1ユニット9人の施設を2箇所に整備することになった場合の事業の安定性及び経営効率等を考慮いたしまして、当初お示した素案のとおり、「1施設(2ユニット計18人)」の整備を計画したいと考えております。</p> <p>また、本計画では整備する地域について明記しておりませんが、具体的な整備の段階においては、ご意見にございました地域特性を十分考慮しながら各地域で公平に介護サービス等が受けられるよう検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、平成27年度からの第六期計画期間中における地域密着型サービスの基盤整備につきましても、今後適切な事業の点検と評価を行いながら検討することにいたしております。</p>